

Akatake Times

Vol. 27
(通算 第180号)

ようやく暑さも和らいだと思ったら、今度は寒気が忍び寄る気配が・・・
最近、秋を感じる期間が短いように思います。
今年も残すところあと2か月足らず。
やり残しの無いように、日々の業務に取り組んでまいりましょう！



『楽しみながら健康維持』

先日、安全衛生委員会主催の秋のハイキングに参加してきました。目的は健康維持の為です。中学生以来、ハイキングをした記憶がありませんでしたので、この機会をきっかけに行ってみようと思いました。コースは、静岡県興津駅から、薩捶峠を越えて、由比駅まで、約9kmの道のりでした。実際歩いてみると、峠を越える際に非常に体が重く感じましたが、実に懐かしい気分になりました。みかんの実った木や、峠の頂上から見る駿河湾の広大な景色、こうして四季を感じながら歩き、健康維持もできる。久々に長い距離を歩き、とてもいいイベントだと思いましたので、今後も積極的にハイキングに参加したいと感じました。



撮影日時：2018年 10月 20日

製造部 製造課 川口彰太さん



◆自然を満喫できる季節

見上げればもう秋。まさに天高く、空には、うろこ雲、いわし雲など見られるようになりました。過ごしやすい自然を満喫できる季節を迎えることができました。ありがたいことです。

◆自然災害の脅威 ～ 対策に真剣に取り組もう

過ぎ去った時間(とき)はアツという間です。いろいろありました。今年の夏は、ことのほか暑く、台風、洪水、暴風などで各地に甚大な被害をもたらし、尊い人命も多く失われました。謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げます。7月に埼玉・熊谷市で国内最高の41.1℃を記録。“7月豪雨”では200人を超す死者。その後も台風が12号、20号、21号、24号と続々と上陸しました。台風ではインフラに甚大な被害を受け、生活基盤がずたずたに破壊され、農業をはじめとした各産業にも大きなダメージを被りました。日頃、何事もなく概ね平穏に暮らしているところに、一瞬で生活の場が崩壊し、精神的にもずたずたになってしまう事態を見聞きするたびに、他人事ではなく、私どもも身の回りを見渡し、災害防止対策に真剣に取り組んでいかななくてはならないと改めて思う次第です。何よりも先ず、政府は安全対策に劇的な資金投入を図るべきだと考えます。

◆天皇陛下の生前退位

天皇退位の特例法が成立し、実に200年ぶりに生前退位となったとのことです。平素は天皇皇后両陛下の事は、終戦の日、原爆の日、沖縄訪問、災害被災地訪問などをマスコミで知らされる程度しか存じ上げません。ただ、ご高齢での国事行為は大変でしょうといつも感じていましたので、退位は良いことではないでしょうか。私的には、今回の生前退位には政治的な要素も含めて皇室の在り方が種々取りざたされているようで、興味深いものがあることも事実です。それはさておき、5月1日が即位の日となり祝日の可能性がきわめて高く、10連休になりそうです。この秋の国会ではっきりするということですが、関連した休日も他に増えるような情報もあり、来年の我が社の年間休日カレンダー作成も苦慮しているところです。

◆2050年には、魚よりプラスチックの方が多くなる！？

環境保全の問題は、世界的に将来を危惧する深刻なものとなりました。10月、欧州議会で可決された「使い捨てプラスチック禁止法案」は、世界がいよいよ危ない領域に達してきたという証ではないでしょうか。私どもは、日頃何気なく使っている“当たり前”の日常雑貨”の多くがいかに多くのプラスチックでできているかということに改めて気付かされます。そしてそれが、海洋生物に危害を与えていることも再認識させられます。我が社も海洋系を守るための一端に粉体技術で貢献していますが、更に海洋生物保護でも貢献できればと願っています。

◆政策のバランス

トランプ大統領の政策が、ますます世界的に波紋を広げています。ひたすら自国の利益のためにだけ言動しているような情報に、驚きを禁じえません。世界の人たちの安全、安心のために協調性のある政策を願ってやみません。ですが、他方において一度、現状をバラバラにしてみるということにおいては、ある意味大事な面はあります。いずれにしても、「経済と徳」のバランスを程よく保ってほしいものです。

◆大坂なおみ選手、全米オープン優勝！

テニスの大坂なおみ選手が、四大大会の一つである全米オープンで、日本勢初の優勝！素晴らしい活躍で、我々にもものすごい感動を与えてくれました。あの時の嬉しさは忘れられません。ですが、その後の活躍は未だ見るできません。頂点を極めると他人はまたやってくれるだろう、それが当たり前という意識で期待します。その期待に応えられない時間が長く続くと、人は忘れ去ってしまうでしょう。そういう事例はいくらでもあり、スポーツ選手の実力の維持・向上は難しいとつくづく思います。会社経営も同様。いい時は長く続かないとの思いを常に持ち続け、緊張感を失わないようにしなければならぬと思っています。

◆計画は、立てただけでは意味がない

さて、第48期を迎え2か月を経過しました。年度計画の進捗状況を確認し、場合によっては修正も必要になります。これは、各部署の一人一人が確認し、所属長が記録しておくことが肝要で、すべての社員が認識しておかなければ計画を立てた意味がないことを確認願いたい。1か月、1週間、1日単位で！

冬が直ぐ近くまでやってきています。今年は、昨年のような荒れた天候にならないよう祈るばかりです。風邪などひかないように、健康面には早め早めの対策を講じていきましょう。ご安全に！！

代表取締役社長 赤堀 肇紀